

※ 下水鮑小学校運営の方針・・・全教育活動を通して、児童一人ひとりの個性・能力を伸ばすとともに、敬愛の心を  
培い、人間性豊かな児童の育成に努める

## ホテル再生事業の作業への参加ありがとうございました。

10月24日（土）と11月1日（日）にホテルの郷再生事業の作業がありました。地域の方々、保護者と児童のみなさん、学校職員、大勢の方々が集まりました。石材屋さんから石を軽トラで運び、水路に石を敷き詰めて完成しました。「子どもたちが遊べるような小さな池を！」という要望にも、急遽、みんなでツルハシやスコップを使って、掘っていただきました。大屋実行委員長さんは「この事業で大きな夢をもらった」と仰っていました。ホテルが住みつくには時間のかかることと思いますが、みんなでこの地域、この学校に大きな夢をつくりあげていく事業を楽しみたいものです。また12月には長野ホテルの会会長の三石暉弥先生が、ホテルの用水路の視察に来てくださいました。「よくここまで、手作りでやりましたね」とお褒めの言葉をいただきました。水路の微妙なところは、水が流れるようにと指導をいただいたり、植栽の樹木の種類（アジサイなど）を教えてくださいました。カワナもホテルの幼虫も5℃～25℃くらいまで生息でき、井戸の水は12～15℃くらいであり、水温事態には問題なく、カワナや幼虫が、この水に馴染んでくれるかが大切であり、時間のかかることとのことでした。

## フラワーブラボーコンクールで優良賞。

フラワーブラボーコンクール中央審査で、優良賞となりました。8月下旬の地方審査に始まり、花壇の花々が見事に咲きました。毎日登校してくる子どもたちだけでなく、運動会、音楽会などと大きな行事に来られたたくさんの保護者の皆様、地域の方々にも喜んでもらったのではないかと思います。既に春の花壇に向けて着々と準備を進めています。来年もご期待ください。

## 楽しかった下小フェスティバル。

10月29日（木）は、下小フェスティバルでした。各委員会でよく考え工夫し、準備してきた出し物で、どのコーナーも行列ができ大賑わいでした。高学年に連れていってもらった低学年の子たちのうれしそうな表情、兄弟が少ない現在では、とても意味のある活動です。高学年にとってもお兄さんお姉さんとして責任重大な、とてもいい経験です。慕う喜び、慕われる喜びを味わいながら、楽しく活動する時間でした。最後にみんなで集まって感想を言って終わりにしました。その感想にその学年らしい思いが語られ、それぞれに大切な心を養う時間となりました。6年のYさんは「最後のフェスティバルをみんな一生懸命がんばった。中学の文化祭に生かしていきたい」と発表してくれました。次につながる活動となりました。

## 6年生が東京社会見学に行っていました。

11月17日(火)に6年生が東京社会見学に行ってきました。本年度は、本校出身の参議院議員：若林正俊さんが、子どもたちを迎えてくださり、お話をしてくださいました。10年間の衆議院議員と現在の参議院議員、農林水産大臣、環境大臣を務められ、現在自民党両院議員会長と活躍されています。「国会は堂々と議論を通じて政治をみんなに知ってもらうところですが、それがなかなかうまくいってなくて残念です。」「小学校のときの社会科の授業で、政治のことを教わったことが、政治家になるスタートでした。」「政治は一人一人に開かなくては幸せな生活はできません。」など話され、最後に子どもたちへ、「ひとりひとりが政治に関心を持ち、意見を言うこと、参加することが大切です。」とお話しされました。校長室にある昨年いただいた若林さんの言葉『一志一道』を感じさせられるお話でした。大先輩の言葉を振り返り、社会科学習に生かしていけるとよいです。

## ふれあい教室がありました。

11月18日(水)は、3、4年の「ふれあい教室」でした。終了後、講師の先生方から感想をいただきました。①和紙人形：男の子が意外に器用、自分の発想で神主の帽子、刀、刀の鞘などを作っていました。「私の安全ピンで穴を開けて」などと気を遣ってくれる子もいました。②絵手紙：集中し、まとめ、時間内でスムーズにできました。お家の人へ投函して終わろうとしたが、見せてから投函したいという子が多く、持ち帰らせることにしました。③生け花：ひたすらつくってきれいにできました。④バルーンアート：膨らませてしぼるのに悪戦苦闘、ものを作る楽しさを味わっていたし、子どもにいっぱい楽しませてもらいました。⑤囲碁将棋：「もう時間が来ちゃったの?」「もっとやりたいな」の声がきかれ、集中し時間が経つのも忘れるほど一生懸命でした。⑥郷土食：子どもたちは大人に教えるより上手でした。男子が多かったけど、すごく好奇心をもってやっていてよかったです。全員が家へ帰ってつくってみたいと言ってうれしかったです。⑦陶芸：子どもの発想がすばらしかった。⑧折紙：子どもたちのまとめがよく、フォローしあっていた。素敵なリースができた喜んでくれていました。・・・

作る楽しさの中で、子どもたちの創造性や吸収力、柔軟性に、教える側も、驚き、共感を感じ、共に心地よさを感じるふれあい教室となりました。

## 2年生が味噌づくりに挑戦しました。

11月19日(木)に味噌づくりに挑戦しました。中野市の小林醤油店さんに指導していただきました。大豆を機械でつぶすところから始まりです。全員が機械を回し、みんなで潰れていく様子を見ました。その後潰した大豆に麴と塩などを混ぜ、一人一人用意したペットボトルに入れてしっかりゴムと紐でとめました。わたしのぼくのお味噌が来年早々に出来上がります。とてもうれしそうな表情でした。きっと毎日お味噌ができていく様子を楽しみに観察していくのではないのでしょうか。

### **読書旬間にブラックシアターをしていただきました。**

12月8日(火)にお話タイムのみなさんが、ブラックシアターの「手ぶくろを買いに」を生活科室で行い、1年生が2クラスずつに分かれて、お話を聞きました。「きれい!」「すごい!」「わあ〜」驚きの声がたくさん聞こえました。きれいで幻想的な画面の連続で、引き込まれました。お話タイムの皆さんには本校の読書生活だけでなく、学校教育活動に対して建設的に支えていただき、ありがとうございます。

### **5年生がしめ縄づくりをしました。**

12月15日(火)は、5年生がしめ縄づくりに挑戦しました。昨年に引き続き、祖父母の会を中心に、地域のおじいさん方、12名の皆様が来て教えてくださいました。「昔は具合が悪くても医者へ行けないし薬も飲めなかった。だから神様に頼んだ」等々のお話をしていただきながら、手本の牛蒡締めがどんどんできていきました。そして、いよいよ子どもたちも挑戦しました。いろいろ試しながら工夫してできたしめ縄にみんな愛着をもったようでした。米づくりに無駄なものは一つも出ることなく、藁は「木よりも価値の高い草」と書くのだそうです。

祖父母の会の方や地域の皆様に貴重な体験をさせていただいたことに感謝申し上げます。

### **5年生が信濃毎日新聞製作センターに行ってきました。**

5年生が社会科の学習で「信濃毎日新聞製作センター」の見学に行きました。徒歩で行ける場所であり、見学時間も、夕刊が出来上がるよい時間帯の設定で、新聞が出来上がる様子が直接間近で見ることのできる学習でした。たくさんの数の新聞を、機械化された設備で、授業員35名で行っているとのこと、子どもたちの質問から、「間違いは許されない」「朝刊の機械始動は夜の12時から」など仕事の厳しさも聞くことができました。

### **6年生、長野市合同音楽会でがんばりました。**

インフルエンザが心配だった長野市合同音楽会に本校の6年生も無事参加することができました。すばらしい施設での一生に一度の同じ学年の仲間との響き合いを心地よく感じる貴重な体験になったのではないのでしょうか。終わりの歌声が最後まで会場に残りました。すばらしい歌詞を噛みしめ、心を込めて歌った合唱にジーンとききました。

